

視察報告書

報告者：岡島貴弘

実施期日：平成 28 年 10 月 5 日（水）～7 日（金）

視察地：岡山県岡山市（会場：岡山国際ホテル）

視察項目：第 78 回全国都市問題会議

◆概要

「人が集いめぐるまちづくり -国内外にひらかれた都市の活力創出戦略-」をテーマに、岡山市にて 10 月 6 日～10 月 7 日の日程で、基調講演、主報告、一般報告、パネルディスカッションが行われた。

◆基調講演：「まちの見方、見つけ方」 ドイツ文学者・エッセイスト 池内紀氏

◆主 報 告：「人口減少社会における都市の活力創出」 岡山市長 大森雅夫氏

◆一般報告：「人を惹き付ける都市空間とその文化力」

法政大学デザイン工学部教授 陣内秀信氏

◆一般報告：「交流とにぎわいのまちづくり」 檀原市長 森下豊氏

◆一般報告：「革新的サイバニックスシステムによる社会変革・未来開拓への取り組み」

サイバニクス研究センター長 山海嘉之氏

◆パネルディスカッション：

テーマ：「人が集いめぐるまちづくり-国内外にひらかれた都市の活力創出戦略-」

コーディネーター：東京大学大学院工学系研究科教授 西村幸夫氏

パネリスト：ひたちなか市長 本間源基氏

鈴鹿市長 末松則子氏

中央大学法学部教授 工藤裕子氏

一般財団法人エリア・イノベーション・アライアンス代表理事 木下齊氏

株式会社ファジアーノ岡山スポーツクラブ代表取締役 木村正明氏

◆所感：

多くの自治体で市民協働による「まちづくり」施策に取り組んでいるが、地域性や多様な価値観の中で手探りで様々な施策を実施している状態である。また、施策自体は視覚的・感情的にもわかりやすいアピール材料となるが、その反面、発展途中であるが故、その方向性・効果・正当性が見え難く、批判の対象となりうる側面もある。

本会議において各地の様々な取り組みを案内いただいたが、環境の違いもあり疑問に思うことがある一方、部分的に本市においても効果が期待できる施策やヒントを多く得ることができた。

日々の活動では近隣自治体の施策やそのメリットのみに注目しがちであるが、本会議は全国的且つ一斉に施策及びその詳細を知り得る有効な場であると同時に、デメリットに対する意見交換を様々な立場の方と即座に可能なことも日常とは異なる。今後も本市発展のためにも積極的に参加をしていきたい会議・視察となった。

また、岡山県はドライバーのマナーレベルの低い地と悪い評価が多いが、その対策の一環として、歩車分離、レンタルサイクル、渋滞検証のための社会実験を行政が積極的に行っており、このことを現地確認できたことは一地方議員としての有効な財産としての上積みであり、本市発展のためにも施策提案として活かしていきたいと考える。